

業務成績評定要領の 22年4月改定へ検討

建コン協九州と意見交換

福岡県

建設コンサルタント協会（建コン協）九州支部（田中清支部長）は22日、福岡県との2021年度の意見交換会を福岡市内で開いた。建コン協は契約書類の統一化や業務成績評定の適

建コン協から県への個別提案は▽契約書類の統一化と電子配信、随意契約見積りの電子化▽業務成績評定の適正な運用▽担い手育成・技術力向上に寄与する業務表彰・感謝状制度の創設▽合同現地踏査の積極的活用。

建コン協から要望した。県は契約書類の統一化と併せてホームページから入手できるシステムの構築を進めているとし、随意契約見積もりの電子化は庁内で協議しており早期に取り組みと回答した。

改定を検討していると答えた。建コン協が事務所単位での表彰制度を提案したのに対し、県はこれまでも災害復旧などで各事務所が表彰した実績はあるため、提案があったことを周知するとした。合同現地踏査に関して県は建コン協が要望した特記仕様書への記載を検討すると回答した。

政令市の中で第4四半期納期の業務の割合が低いなど比較的進んでいるため、建コン協は取り組みの継続を求めた。建コン協がウエブ会議の環境を確認したのに対し県は県全体で必要な機器を53台配備していると説明。条件明示チェックシートについて建コン協は予備設計から詳細設計への移行に当たっての申し送りで活用するよう求めた。

契約書類の統一化や随意契約見積もりの電子化はコロナ禍での非対面方式の推奨、事務作業の効率化など

業務成績評定に関して県は事務所ごとに評定点にバラツキがあるとの指摘を受け、バラツキを少なくする方向で国土交通省に準じた

このほか納期の平準化については県では九州の県・